

コミケビギナーのための 超・速・解 アドバイス

# ComiNavi



さあ、今年も締めくくりの冬コミです。  
 ここ最近、毎回ごとに初めての参加者が増えています。  
 ビギナーさんはきちんとした情報収集と準備をして、先輩のベテラン参加者さんはそのお手本となれるように。  
 みんなで助け合ってコミケットの良い伝統を繋いでいきましょう！

## ■■まずは基本の環境対策を■■

冬なのだから寒いのは当然、でも重い荷物を担いで歩きまわれば暑くもなる。つまり問題なのはそれぞれが『どのくらい寒くて、どれくらい暑いのか』、そしてそれが『どのくらいの割合でどのくらい時間続くのか』なのだが、これを知るためにはまず、自分自身がこういったスケジュールで会場で行動するつもりなのかを明確化しておく事が絶対条件となってくる。

コミケットへの参加経験が少ないなら少ないほど、きちんと自分の行動予定を立ててそれに即した準備をして来場し、最初に立てたスケジュールを守ることが、結果として最も楽な方法だということは覚えておいたほうが良いだろう。

## ■参加タイプ別重点準備ポイント傾向と対策■

コミケット参加者の大部分を占める一般参加者がどう1日を過ごすかが、その回のコミケットの方向性を決める。ならば『一般参加者みんなが少しづつコミケットへの負荷を引き下げるように行動すれば、会場内はもっと快適になるはず』というコンセプトで様々な参加者のタイプに合わせたポイントを挙げてみよう。

### ①早朝から入場待機、閉会までひたすらサークルを回るガチ参加タイプ

◆傾向と対策> 『前回よりもほんの少しでも軽量コンパクト化』を目指せ!!

まずは未明から早朝にかけての最も気温の低くなる時間帯から待機列が動き出すまでの時間をどう乗り切ることがガチ。朝食を食べてから来場する、待機列の中で買って来たものを食べるなどしてきちんとエネルギーになる食べ物をお腹に入れておこう。空腹ではどんなに防寒着を着込んでも寒さは防げない。

逆に入場後はその早朝時間帯のための厚い防寒着のせいで逆に汗だくになってしまったりもするし、どうしても待機時間分の荷物がデッドウェイトとなりがちなので、着る物、飲食物、収納、待機用アイテム（折り畳みイスや携帯ゲーム機など）、防寒具、雨具といった装備品一つ一つを十分に検討し、携行する荷物を極力軽量コンパクトにまとめよう。それだけで特に混雑地帯の通過を筆頭に、1日歩きまわる間の総合的な体力の消耗や足腰への負担が大きく軽減される。

基本的に一般参加者は荷物が大きくなってもカートに頼るのは避けよう。移動が多くなる以上、カートはぶついたり引っ掛けたりというアクシデントを発生させる可能性が非常に高い。自分で常時持って移動できないような大きさや重さの装備になってしまうのならば、カートの用意よりも先に装備をスリム化することを考える必要がある。

全コミケット参加者の中で大多数を占める朝から参加の一般参加者が全員、戦利品以外の荷物を一回りコンパクトにし、カートの使用を控えたら会場内はどれだけスムーズに動けるようになるだろう。

そういった想像力を働かせ、『まずは自分から』と行動につなげていくこともまた参加者にとって大切なことだったりするのだ。

